

事業所名

児童発達支援センターシャローム

支援プログラム

作成日

2025(令和7)年2月28日

法人(事業所)理念		すべての子どもが共に育ちあうインクルーシブ教育の実践のため、シャローム・西那須野幼稚園・こひつじ保育園が連携し、子どもたちに寄り添い、福祉と教育の両面からの最善の支援を目指します。											
支援方針		『人は皆、神の前では平等である』というキリスト教主義教育の理念のもとに、1957年(昭和32年)の創立以来、様々な障がいのあるお子さんを受け入れ、共に育ち合う教育環境を保障しよう											
営業時間		8	時	30	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※送迎エリアは原則として西那須野地区になります。
支 援 内 容													
本人支援	<健康・生活>	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持(通所時の検温、視診、体調管理、衣服の調節)に対する支援 医療的ケア児に対するケア(喀痰吸引、胃瘻、導尿など) 食事に対する支援(給食や手作りおやつを提供により食べられるものを増やす、食具の使い方の指導、歯磨き学習など) 基本的生活習慣の獲得に対する支援(衣服の着脱や畳み方、ボタンやチャックの装着、靴の脱ぎ履き、トイレトレーニング、手洗い・うがいなど) 防災訓練への参加 											
	<運動・感覚>	<ul style="list-style-type: none"> 基本運動能力(歩く、走る、跳ぶ、投げるなど)の向上 固定遊具(平均台、滑り台、雲梯、はんどう棒など)に対する指導 微細運動能力の向上(制作、ひも通し、洗濯ばさみ遊び、お菓子の袋を開けるなど) 道具の使用や操作に対する指導(ハサミ、鉛筆やクレヨン、食具など) 感覚の特性への対応(過敏さ、鈍さ、揺れる感覚、音の感じ方など) 作業療法士(OT)による個別指導、現場への助言や介入 											
	<認知・行動>	<ul style="list-style-type: none"> 概念形成(言葉と意味の結びつき、身体部位、色、文字、数など)に対する支援 視空間認知や視覚認知能力の向上に対する支援(マッチングあそび、型はめ、パズル、動作の模倣など) 一斉指示やルールの理解の理解(集団あそび、ゲーム遊びなど) 気持ちの切り替えに対する支援 自分で考える力(思考力・試行錯誤)を育む支援 											
	<言語・コミュニケーション>	<ul style="list-style-type: none"> 理解語彙、表出語彙の増加に対する支援(絵カードやマカトンサインの使用など) コミュニケーション能力の向上に対する支援(気持ちや行動の言語化、状況に応じた言葉の見本の提示など) 個に応じたコミュニケーション手段の獲得に向けた支援(音声、マカトンサイン、ジェスチャー、書字、ICTなど) 言語聴覚士(ST)による個別指導、現場への助言や介入 											

	<p><人間関係・社会性></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関わりに対する支援（ごっこあそび、やり取りをする経験、相手の気持ちを知る経験、相手を思いやる気持ちを育むなど） ・遊びの中から社会性の発達を促す（時間やルールを守る経験、気持ちのコントロールなど） ・自己理解と行動の調整に対する支援（ソーシャルスキルトレーニング、危険認知トレーニングなど） ・仲間づくりと集団参加への支援（集団活動、友達と協力する経験） ・社会参加に対する支援（地域への外出、買い物体験、学童クラブや他事業所との交流など） 	
<p>家族支援</p>	<p>①ペアレント・プログラムの開催（栃木県発達障害者地域支援マネージャー事業） ②保護者と共通の理解を持つことができるよう情報共有を行う ③送迎マナーを守り安全に乗車することができる</p>	<p>移行支援</p>	<p>○幼稚園・保育園から小学校への移行支援 ○学童等への移行支援</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>①関係機関と連携を図り、統一した支援に支援に繋げる ②学童クラブとの交流 ③近隣児童発達支援事業所との交流 ④地域の医療的ケア児との交流</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>○職員を対象とした内部研修の開催・参加 ○外部研修への参加 ○外部講師による児童発達セミナーの開催</p>
<p>主な行事等</p>	<p>○外出行事（公園散歩、卒園遠足、卒業遠足、買い物体験、消防署見学、工場見学） ○夏まつり、クリスマス会、保護者の交流会</p>		